
小田原短期大学「食物栄養学科」
収容定員増に関するニーズ調査【事業所対象】
結果報告書

平成27年5月
株式会社 進研アド

調査概要

1. 調査目的

2016年4月収容定員の増加を計画中の小田原短期大学「食物栄養学科」に関して、想定される就職先のニーズを把握する。

2. 調査概要

調査対象		想定される就職先(保育所、福祉施設、給食産業及び病院等)の人事関連業務担当者
調査エリア		神奈川県、東京都、静岡県を中心とした全国
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,236社
	回収数 (回収率)	186社 (15.0%)
調査時期		2015年3月2日(月) ～ 2015年3月20日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

・属性 (人事採用への関与度／本社所在地／勤務先の主な業種／従業員数)
・正規社員の平均採用人数
・本年度の採用予定数
・採用したい学問系統
・食物栄養学科の特色に対する魅力度
・食物栄養学科の社会的必要性
・食物栄養学科卒業生に対する採用意向
・食物栄養学科卒業生の毎年の採用想定人数

調査結果まとめ

調査結果まとめ

回答事業所(回答者)の属性

※本調査は、小田原短期大学「食物栄養学科」に対する需要を確認するための調査として設計したため、小田原短期大学卒業生の採用者数が多いエリア(神奈川県、東京都、静岡県等)の保育所、福祉施設、給食産業及び病院等の事業所で人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施した。

- 本調査の回答事業所は186事業所。
- 回答者の人事採用への関与度を尋ねたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人が48.9%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が33.9%と多く、「採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない」人(1.6%)も含めた採用や選考にかかわっている人は84.4%である。
- 回答事業所の本社の所在地は「横浜市・川崎市・小田原市以外の神奈川県」が30.6%、「静岡県」が28.0%と多い。
- 回答事業所の業種としては「保育所」が52.2%と最も多く、次いで「福祉施設」が19.9%と多い。
- 回答事業所の従業員数規模は「50名未満」が57.5%と最も多く、次いで「100名～500名未満」が15.1%と多い。

採用状況

- 回答事業所の正規社員の平均採用人数を自由記述で聴取したところ、「1～5名未満」が47.8%と最も多く、次いで「0名」が11.8%、「5～10名未満」が10.8%。
- 回答事業所の過去3か年の平均的な正規社員採用人数を合計した採用総数は3,846名である。
- 回答事業所の本年度の採用予定数は「昨年度並み」が39.2%で最も多く、「未定」が19.9%、「増やす」が17.2%と続く。
- 回答事業所の採用したい学問系統は「生活科学(食物・栄養学、被服学、住居学などを含む)」が50.5%。「保育学(保育士を養成する)」(58.1%)や「幼児教育学(幼稚園教諭を養成する)」(28.0%)も多い。

調査結果まとめ

食物栄養学科の特色に対する魅力度

- 食物栄養学科の特色に対する魅力度は、全ての特色で7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは「栄養・食品・調理・給食に関する豊富な実験・実習を通して、食と健康のスペシャリストを育成します。」「調理技術や献立作成力など栄養士の現場に役立つ実践力が身につくカリキュラムで、『調理に強い栄養士』を育成します。」で89.8%、次いで「2年間で、『栄養士免許』『栄養教諭二種免許』『社会福祉主事任用資格』、および『健康管理士一般指導員の受験資格』の取得が可能です。」(81.7%)。

食物栄養学科の社会的必要性

- 食物栄養学科の社会的必要性について、「必要だと思う」と答えた事業所は93.0% (173事業所)と、多くの事業所でこれからの社会にとって必要な学科だと認識されている。

調査結果まとめ

食物栄養学科卒業生に対する採用意向／ 毎年の採用想定人数

- 食物栄養学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた事業所は72.0%（134事業所）である。
- 食物栄養学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた134事業所に対し、食物栄養学科卒業生を毎年何名程度採用すると想定しているか尋ねたところ、毎年の採用想定人数は合計で169名である。

採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

- 地元である「神奈川県」の事業所の採用意向は73.4%となっている。

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統で「生活科学」を選んだ事業所の採用意向は86.2%と高い。

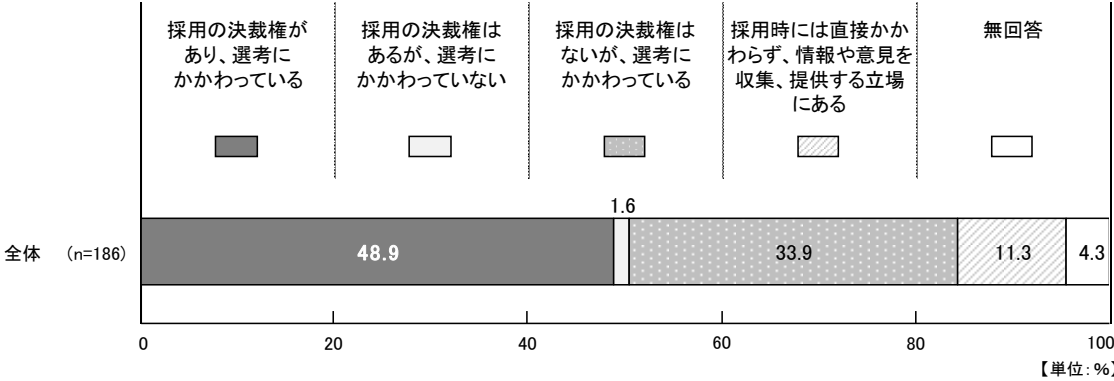
調查結果



属性(人事採用への関与度／本社所在地)

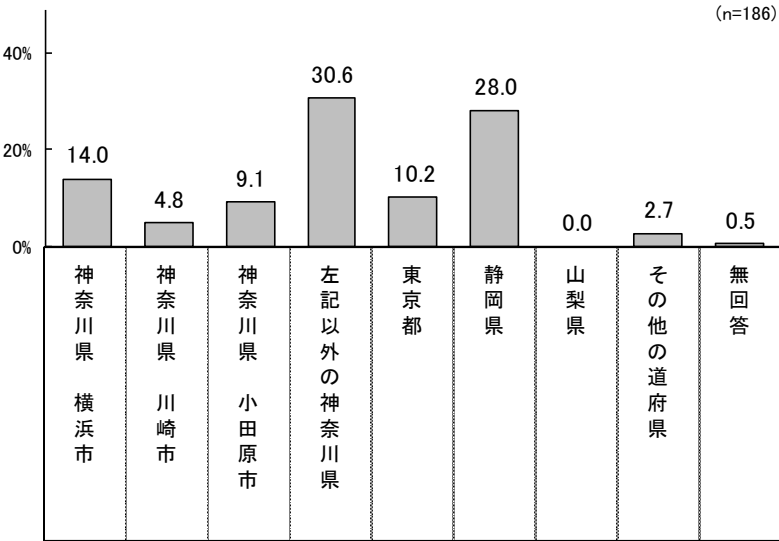
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

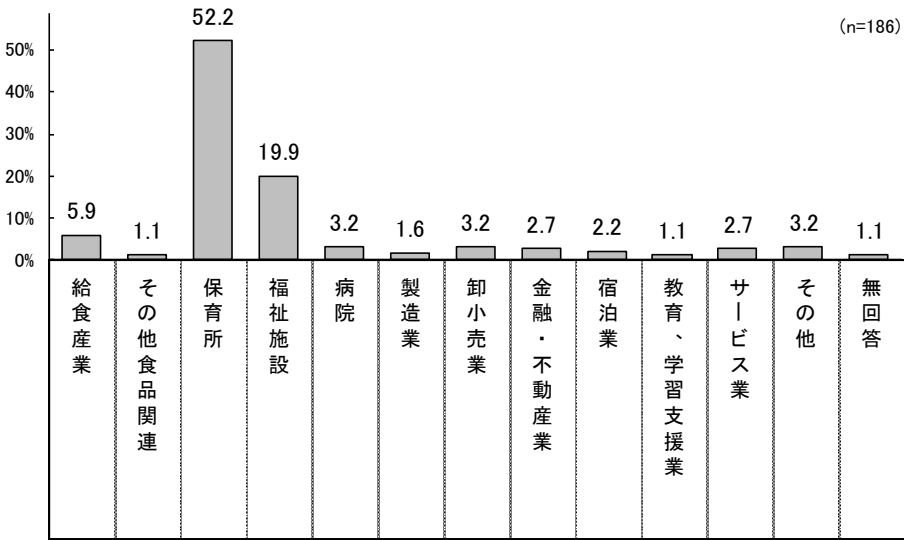
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



属性(勤務先の主な業種／従業員数)

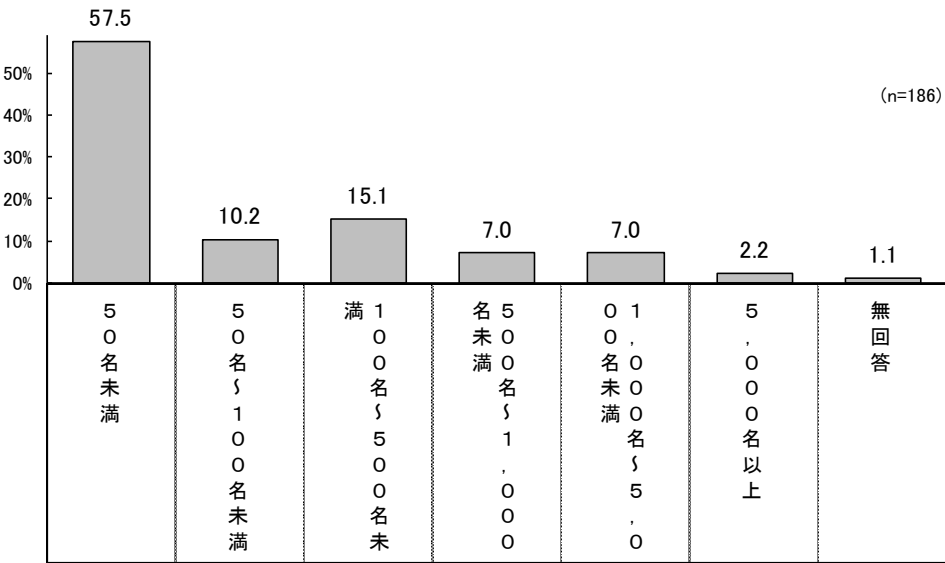
勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の種類について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



従業員数

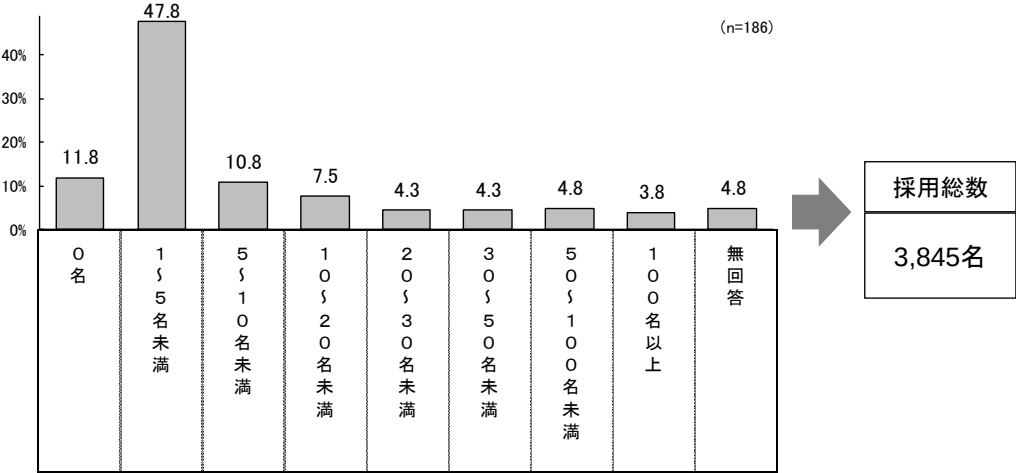
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

■ 正規社員の平均採用人数

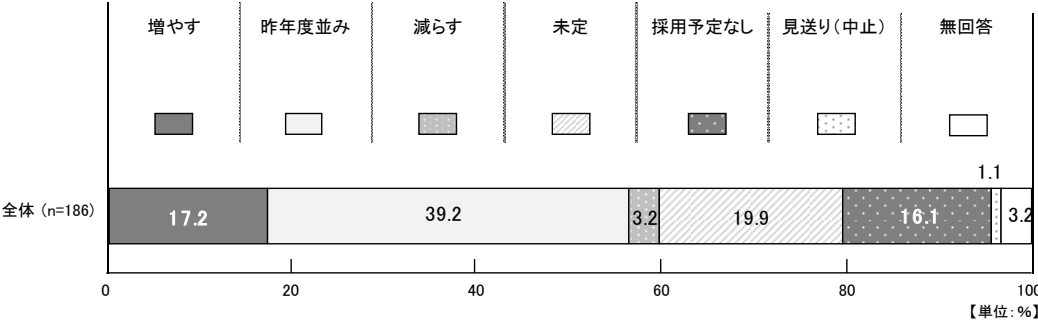
Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けしてグラフ化。

■ 本年度の採用予定数

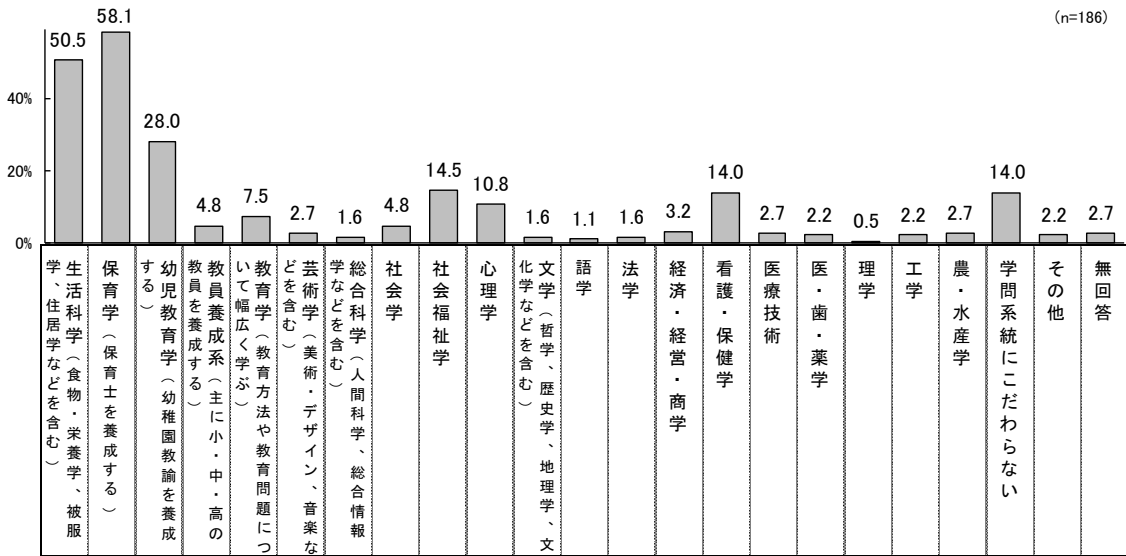
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問系統

■採用したい学問系統

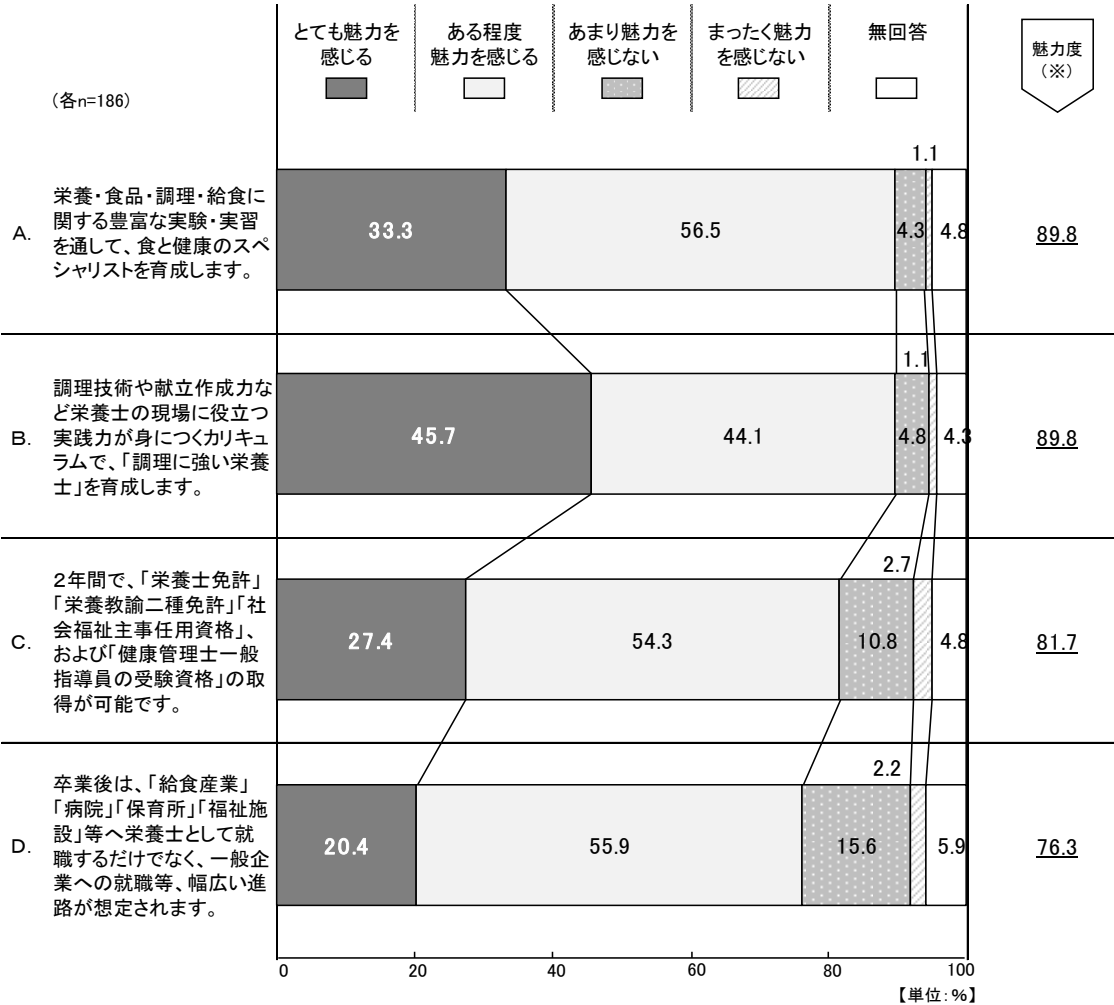
Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部・学科を卒業した人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)



食物栄養学科の特色に対する魅力度

■食物栄養学科の特色に対する魅力度

Q8. 小田原短期大学「食物栄養学科」には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

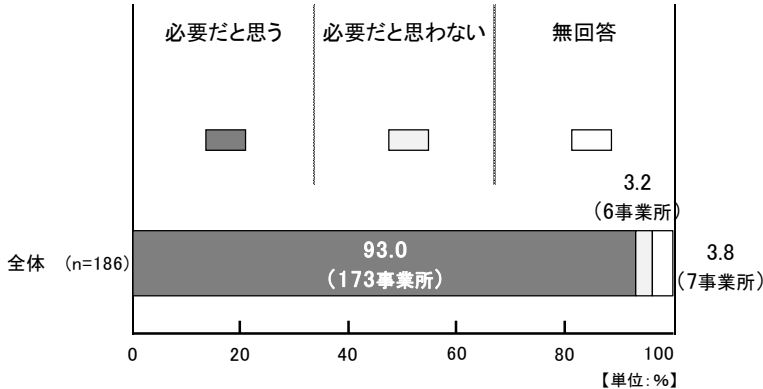


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

食物栄養学科の社会的必要性／食物栄養学科卒業生に対する採用意向／食物栄養学科卒業生の毎年の採用想定人数

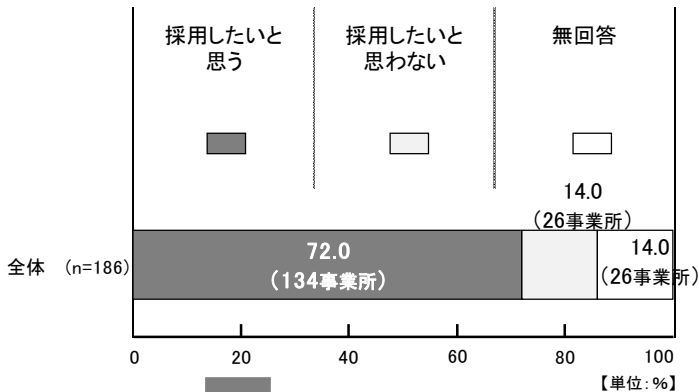
食物栄養学科の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「食物栄養学科」は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



食物栄養学科卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「食物栄養学科」を卒業した学生について、採用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた事業所のみ抽出

食物栄養学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、小田原短期大学「食物栄養学科」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5〜9名	10〜19名	20名以上	人数は未確定	無回答	毎年の採用想定人数・計※(名)
全体	134	%	23.9	6.0	3.0	0.0	3.0	0.7	0.0	59.0	4.5
		件	32	8	4	0	4	1	0	79	6

⇒ 169

※ 毎年の採用想定人数・計 「5〜9名」=5名、「10名〜19名」=10名、「20名以上」=20名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出

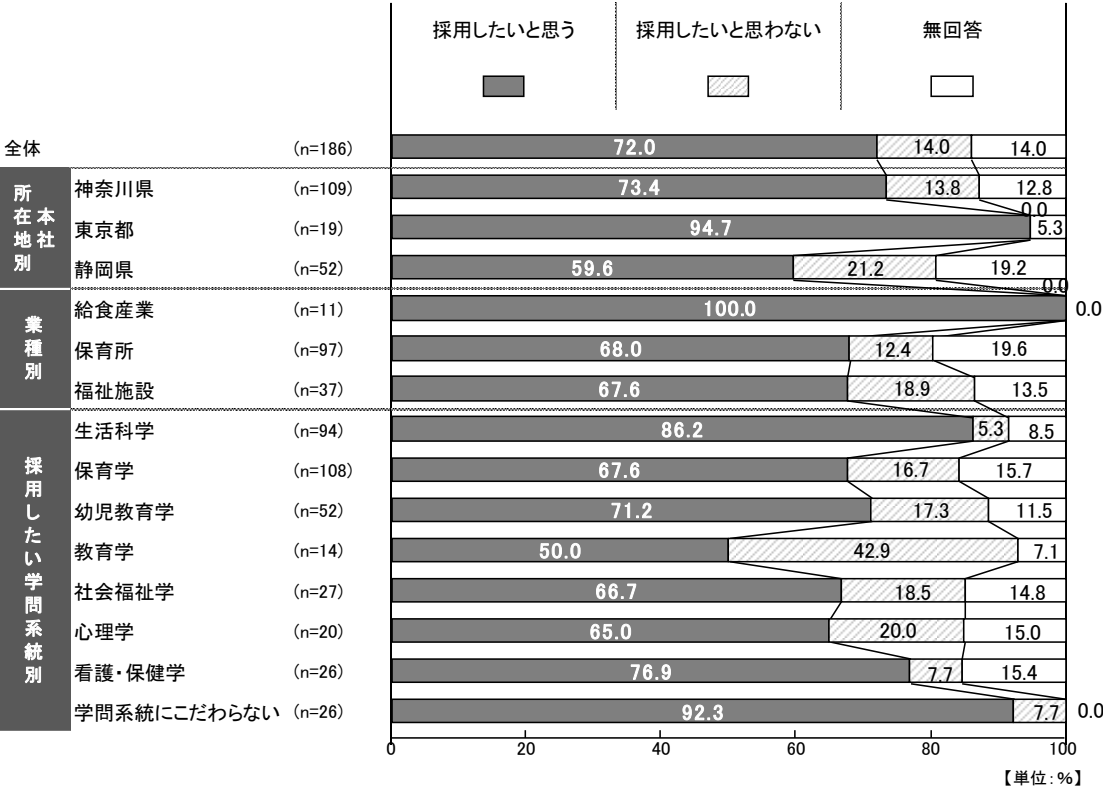
食物栄養学科卒業生に対する採用意向＜属性別＞

■食物栄養学科卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、小田原短期大学「食物栄養学科」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。
(あてはまる番号1つに○)

＜属性別＞

※サンプル数10未満は未掲載



【単位: %】

卷末資料 調查票



小田原短期大学 食物栄養学科 に関するアンケート

小田原短期大学では2016年(平成28年)4月より、「食物栄養学科」の入学定員を増やす計画を立てています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した短期大学や学科にするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートと同封した資料に記載されている「食物栄養学科」に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

- Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
 - 2. 採用の決裁権はあるが、選考にかかわっていない
 - 3. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
 - 4. 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
- Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 神奈川県 横浜市
 - 2. 神奈川県 川崎市
 - 3. 神奈川県 小田原市
 - 4. 1～3以外の神奈川県
 - 5. 東京都
 - 6. 静岡県
 - 7. 山梨県
 - 8. その他の道府県()
- Q3. 貴社・貴団体の種類について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 給食産業
 - 2. その他食品関連
 - 3. 保育所
 - 4. 福祉施設
 - 5. 病院
 - 6. 製造業
 - 7. 卸小売業
 - 8. 金融・不動産業
 - 9. 宿泊業
 - 10. 教育、学習支援業
 - 11. サービス業
 - 12. その他()
- Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 50名未満
 - 2. 50名～100名未満
 - 3. 100名～500名未満
 - 4. 500名～1,000名未満
 - 5. 1,000名～5,000名未満
 - 6. 5,000名以上
- Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。
- 過去3か年 平均 名程度
- Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)
- 1. 増やす
 - 2. 昨年度並み
 - 3. 減らす
 - 4. 未定
 - 5. 採用予定なし
 - 6. 見送り(中止)

調査票

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部・学科を卒業した人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 生活科学 (食物・栄養学、被服学、住居学などを含む)
9. 社会福祉学
17. 医・歯・薬学
2. 保育学 (保育士を養成する)
10. 心理学
18. 理学
3. 幼児教育学 (幼稚園教諭を養成する)
11. 文学 (哲学、歴史学、地理学、文化学などを含む)
19. 工学
4. 教員養成系 (主に小・中・高の教員を養成する)
12. 語学
20. 農・水産学
5. 教育学 (教育方法や教育問題について幅広く学ぶ)
13. 法学
21. 学問系統にこだわらない
6. 芸術学 (美術・デザイン、音楽などを含む)
14. 経済・経営・商学
22. その他 ()
7. 総合科学 (人間科学、総合情報学などを含む)
15. 看護・保健学
8. 社会学
16. 医療技術

小田原短期大学では、2016年(平成28年)4月に、
「食物栄養学科」の入学定員を増やすことを計画しています。
※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧くださいの上でお答えください ※

Q8. 小田原短期大学「食物栄養学科」には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体 (ご回答者) にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を感じ	ある程度 魅力を感じ	あまり 魅力を感じない	まったく 魅力を感じない
例.	○○という力が身につきます。	→ 1	2	3	4
A.	栄養・食品・調理・給食に関する豊富な実験・実習を通して、食と健康のスペシャリストを育成します。	→ 1	2	3	4
B.	調理技術や献立作成能力など栄養士の現場に役立つ実践力が身につくカリキュラムで、「調理に強い栄養士」を育成します。	→ 1	2	3	4
C.	2年間で、「栄養士免許」「栄養教諭二種免許」「社会福祉主事任用資格」、および「健康管理士一般指導員の受験資格」の取得が可能です。	→ 1	2	3	4
D.	卒業後は、「給食産業」「病院」「保育所」「福祉施設」等へ栄養士として就職するだけでなく、一般企業への就職等、幅広い進路が想定されます。	→ 1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体 (ご回答者) は、小田原短期大学「食物栄養学科」は、
これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体 (ご回答者) は、小田原短期大学「食物栄養学科」を卒業した学生について、
採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う
2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、小田原短期大学「食物栄養学科」を卒業した学生について、
毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1名
3. 3名
5. 5～9名
7. 20名以上
2. 2名
4. 4名
6. 10～19名
8. 人数は未確定

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

小田原短期大学 食物栄養学科の概要

小田原短期大学は、社会により多くの優秀な人材を輩出し社会に貢献するため、また地域のニーズに応えるために、2016年4月から食物栄養学科の入学定員を現在の60名から80名に増やすことを検討しています。このアンケートは、定員増加の基礎資料にするため、皆様にご協力をお願いしています。アンケート結果は、統計資料としてのみ使い、目的以外に利用することはありません。

小田原短期大学 **食物栄養学科** 定員女子80名（60名から20名分増やす計画です） 修業年限2年
＜取得可能資格＞栄養士、栄養教諭2種免許状、健康管理士一般指導員
＜取得学位＞短期大学士（家政学）
＜学費＞1,348,300円【入学金340,000円/授業料750,000円/施設設備費240,000円/実験実習費18,300円（2014年度実績）】

保育学科 定員女子140名 修業年限2年
＜取得可能資格＞幼稚園教諭2種免許状、保育士資格
＜取得学位＞短期大学士（保育学）
＜学費＞1,350,000円【入学金340,000円/授業料770,000円（実習費含む）/施設設備費240,000円（2014年度実績）】

●食物栄養学科の理念と特色

本学科では“調理に強い栄養士”の育成を目指し、豊富な調理実習を取り入れた独自カリキュラムのもと学んでいきます。また栄養士に必要なフードサービス能力育成のために、「ゼミナール」や「総合調理実習」などの授業を通して表現力・創造力・テーブルセンスが磨かれます。



●開設予定科目

栄養学、食品学、基礎調理実習、給食計画演習、栄養指導、公衆衛生学概論、ライフステージ栄養学 等

●食物栄養学科 養成する人物像

＊食の専門知識・技能を活用し、地域・社会の人々の健康増進に貢献できる人
＊食を中心とした様々な情報に関心を持ち、あらゆる年齢層の人々に食育活動ができる人



●食物栄養学科 卒業後の活躍フィールド

栄養士・栄養教諭として活躍！！
給食産業、病院、保育所、小学校、中学校、社会福祉施設、食品メーカー、食品関連企業、サービス業 など

【参考】近隣私立大学の学納金 （2015年2月現在の各大学のホームページより引用）

地域	大学・学部名	学科名	学費 (入学金+授業料+施設設備費+実験実習費)
神奈川県	相模女子大学短期大学部	食物栄養学科	1,358,000円
静岡県	日本大学短期大学部	食物栄養学科	1,260,000円

●設置場所

【住所】神奈川県小田原市城山4-5-1

【アクセス】JR・小田急「小田原駅」徒歩15分

